

まんが 測量三千世界

第1話
超速水準測量の巻
(2/4)



原作: ドクター・バツカル
漫画: みあけ・みつを



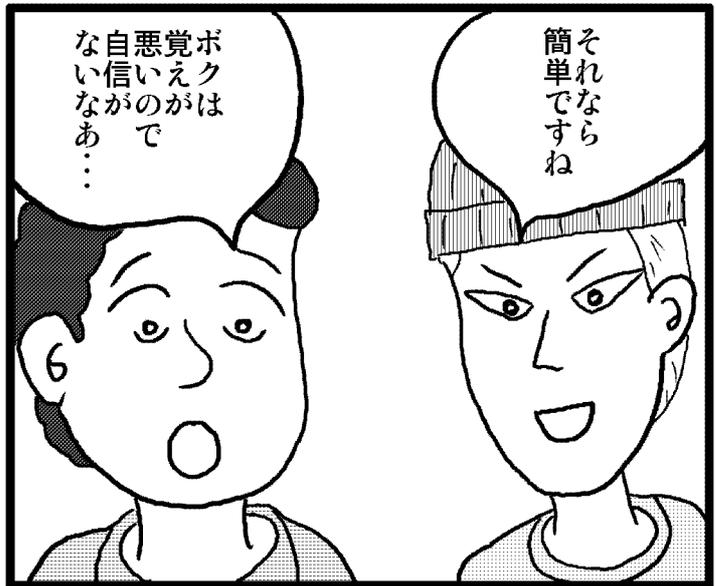


オートバイに乗って
新聞の代わりに
1mの長さの
円形ポールを持って
道路の上を
五十五mとか百mとか
移動して道路の上
まっすぐ鉛直に
立てるだけだよ
普通は二mの二段の
長さでよいのじゃ



ところでボクは
エイ君と一緒に
動くのですか？

大丈夫だよ
ボクが教えてあげるよ！



それなら
簡単ですね

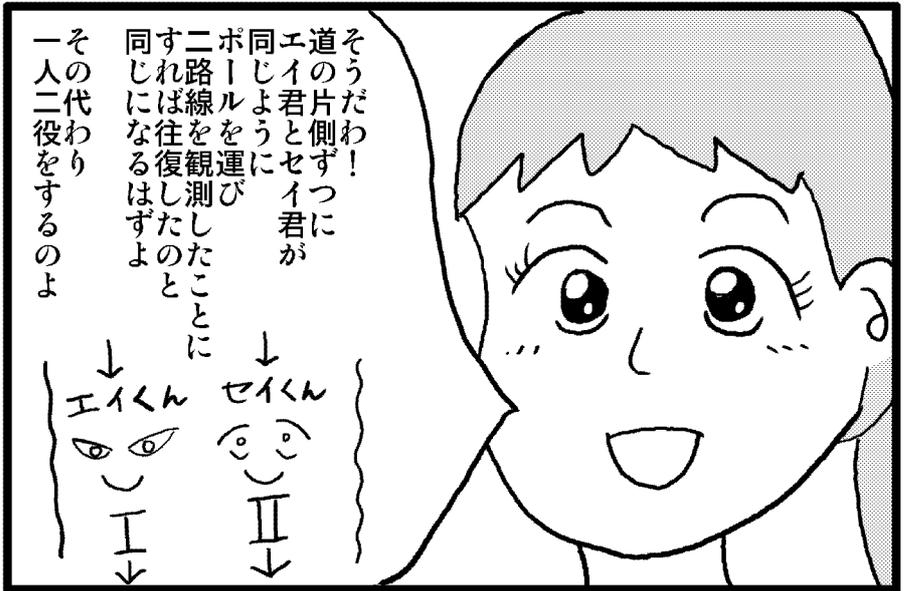
ボクは
覚えが
悪いので
自信が
ないなあ…



そして目標に
着いたら逆方向に
同じことをして
往復観測
するんですね



先ずオレのレベルが進み
後ろのエイ君の持つたら
スタッフを観測したら
次に前で待っていら
セイ君のスタッフを
観測したらレベルが
また進む作業の
繰り返すのだ





だからオレがOKの
サインを出したら
追い越したよ
よ

規定では
五十m以内で
観測しなければ
ならないよ



どこの
どこのくらい離れた
ところでポールを
立てれば
いいんですか？



ボクはそんな
離れ業できないよ

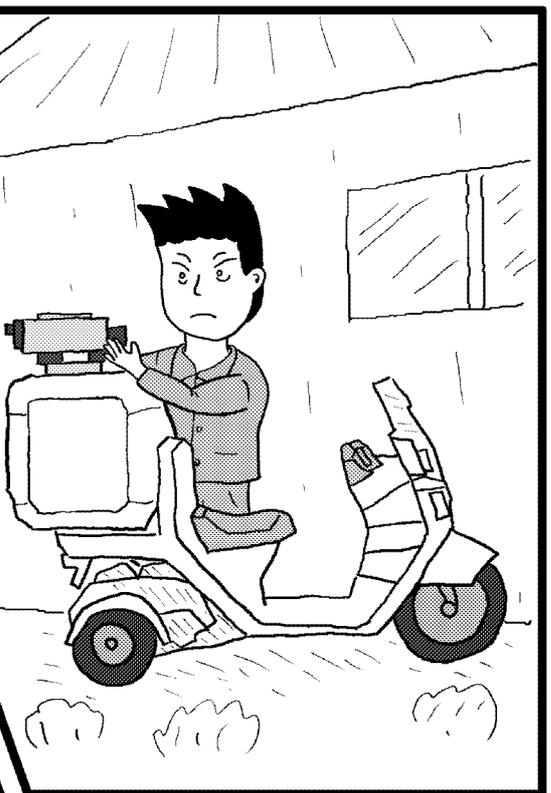
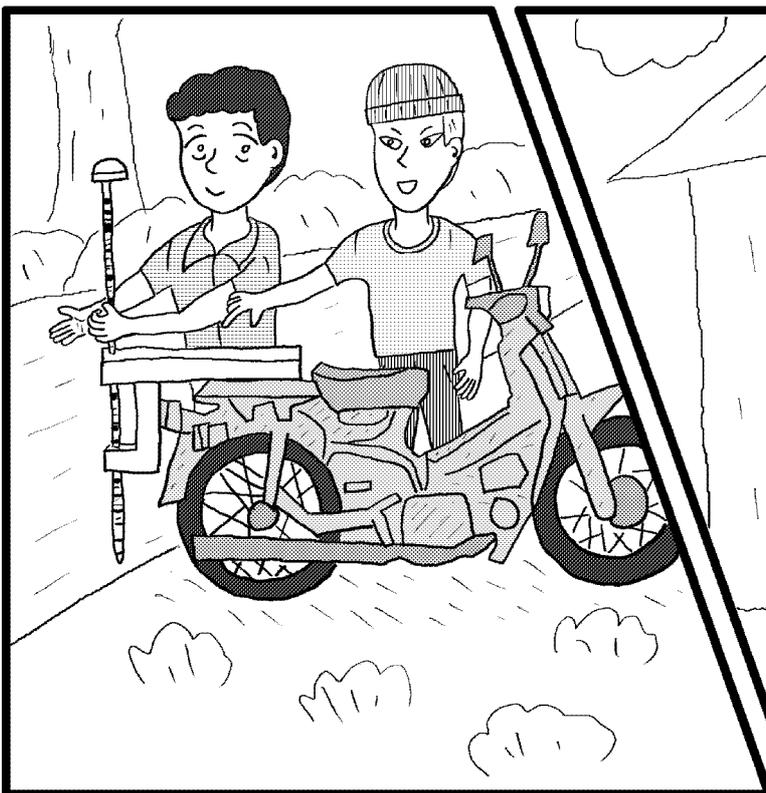
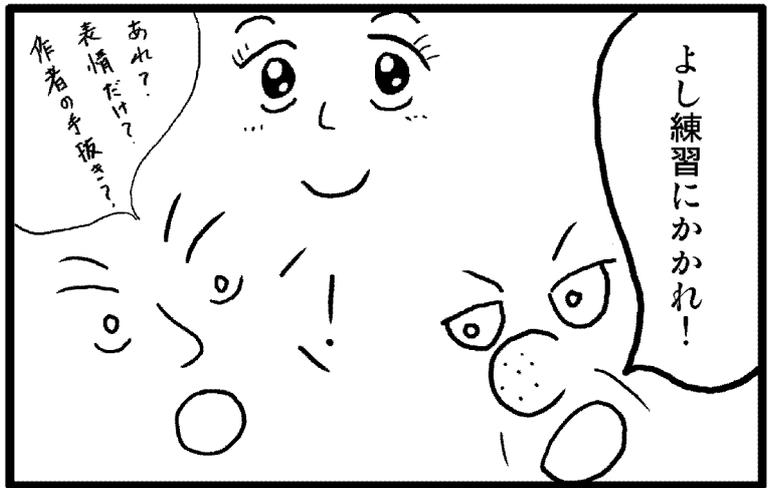
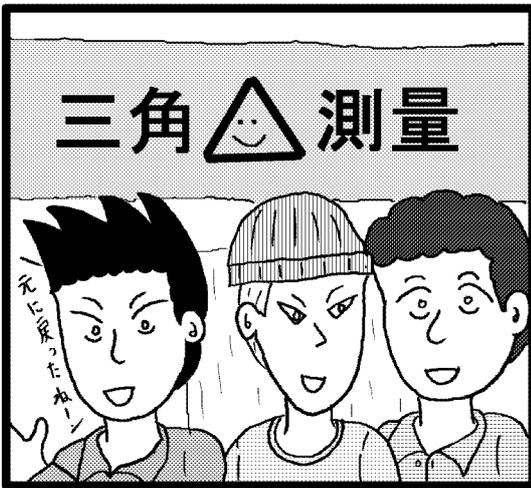
ボクがオートバイの
距離計を見ながら
正確に道路の隅を
移動するから
移動するから
君も少し離れて
同じように移動
すればよいさ



社長！
朝の五時は
早いですよ



説明はこれまで！
本日は
予行練習をして
明日は朝五時
から本番を開始
することを命じる！





いよいよ観測本番！作業はうまくいくのでしょうか？
次回更新をお楽しみに！